



2025 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社小田原エンジニアリング
代 表 者 代表取締役社長 保 科 雅 彦
(コード番号 6149 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先
役職・氏名 管理部長代理 浜 西 貴 之
(電話 0465-83-1122)

2025 年 12 月期中間連結会計期間の 業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 2 月 14 日に公表いたしました 2025 年 12 月期中間連結会計期間の業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期中間連結会計期間の業績予想数値と実績値との差異

(2025 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	1,530	1,550	1,080	189.26
今回発表実績(B)	10,359	2,044	2,044	1,427	249.98
増減額(B-A)	860	514	495	348	
増減率(%)	9.1	33.6	31.9	32.2	
(ご参考)前期中間期実績 (2024 年 12 月期中間期)	4,635	467	560	392	68.98

2. 予想数値と実績値との差異の理由

(1) 中間連結会計期間実績差異の理由

売上高につきましては、巻線機事業において、下期に売上を予定していた一部の追加治具や改造案件を前倒しで売り上げたことや、前期に引き続き、消耗品・予備品が海外顧客向けを中心に好調に推移したことに加え、送風機・住設関連事業において、工作機械や産業用ロボット向け軸流ファンを中心に受注が回復しつつあることや、集合住宅向け浴室照明器具や全館空調システムを含む住宅換気装置が堅調に推移したこと等により、前回発表予想を上回りました。

利益につきましては、巻線機事業において、今後に向けた試験研究費は増加したものの、製造原価を低く抑えられたことや、利益率の高い追加治具・改造案件・消耗品・予備品が好調に推移したこと等により、前回発表予想を上回りました。

(2) 通期連結業績予想の修正等

通期業績予想につきましては、現在精査中のため修正しておりません。今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示する予定であります。

以 上